

「ほっ」❤️ とする保健室からのほけんだより

令和4年3月3日
第12号
牛島小学校保健室

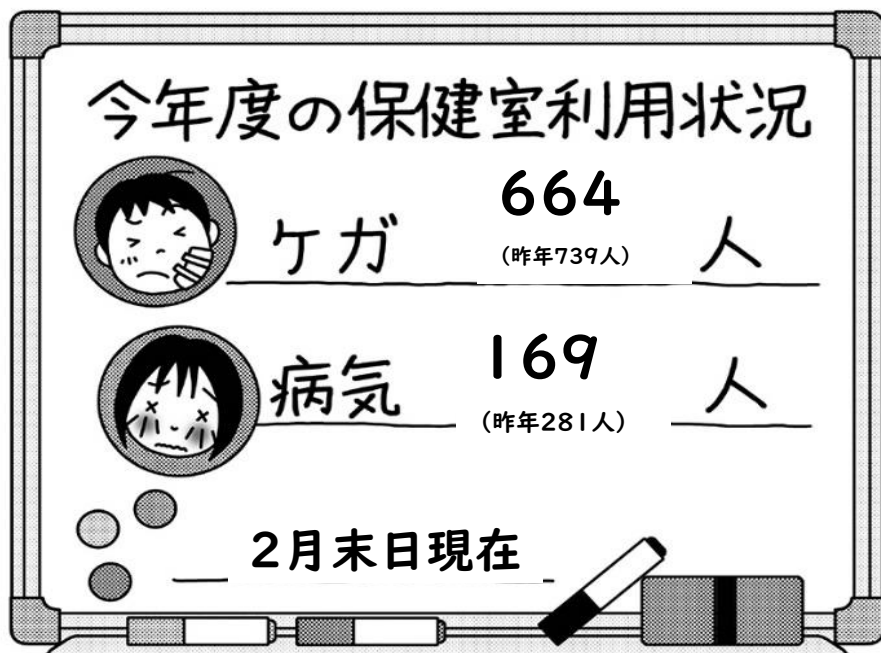
ほっとけんしつ

家庭数配付文書

おうちの人とよみましょう

3月は1年のまとめの月です

今年度もたくさんのごことを制限されて我慢した1年間だったと思います。今年度のまとめの月になりましたので、1年間の保健室来室状況をまとめてみました。すると、昨年度と比べて大幅にけが・びょうきでの来室が減っていました。これは、みなさんが、しっかりと「健康」について考え予防できた結果だと思えます。我慢も多かったと思いますが、牛島小学校のみなさんが元気に1年間過ごせたので悪いことばかりではなかったですね。3月は次の学年の準備の月です。新たな目標を決めてそこに向けて進んでいきましょう。



3月3日は何の日でしょう？

こたえ



「3」の数字が耳の形に似ていることから、1956年に社団法人日本耳鼻咽喉科学会の提案により制定した記念日です。

もともとは、難聴と言語障害をもつ人々の悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから始められたものでした。一般の人々が耳に関心を持ち、耳の病気のことだけではなく、健康な耳を持っていることへの感謝、耳を大切にするために良い音楽を聴かせて耳を楽しませてあげるため、そして、耳の不自由な人々に対する社会的な関心を盛り上げるために制定されました。右ページで「耳」について考えてみましょう。

「耳」について考えよう



私たちは感染症の予防のために、マスクをつけて生活をしています。感染予防のためには有効なマスクですが、鼻から下が隠れてしまって相手の表情を読むことが難しいですね。

耳が不自由な方は表情や口の動きを頼りにしているので、みんながマスクをつけるようになってから困ることが多くなったと先日テレビで見ました。私たちは、耳で情報を得られていることに感謝するとともに、困っている人がいるということを知って、見かけた時にどうしたらよいか考えて生活してほしいと思います。

みんなができることを考えてみよう!



筆談する(書いて伝えること)

「こんにちは」と
言っています。

指を立てて
「いいね!」



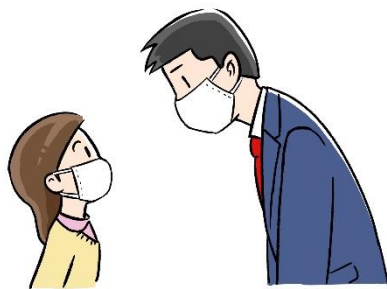
手話やジェスチャー

他にも伝える方法があると思います。この機会に考えてみましょう。

上手に耳を使おう

友達とけんかになってしまったとき、思いが伝わらずつい、手を出してしまった。という経験をしたことはないですか? みなさんには「耳」という優秀なものがあります。その優秀な耳をうまく使えるといいですね。思いを伝える時、もちろん「耳」をしっかり使うのですが、他にも上手に思いを伝える方法があるので紹介します。

顔を見て話をしよう。



思いを伝えたいときには、手を止めて目を合わせることで、相手に集中するのでしっかり聞くことができます。

待ってあげる。



伝えたいことをすぐに話せない時があります。いそがず、待ってあげることで、落ち着いて話すことが出来るようになります。

優秀な耳と
温かい心
で話を聞こう